

議会だより

2020

No. 131

くらて

9 月定例会号

おもな
内容

P2

令和元年度歳入歳出決算認定

P7

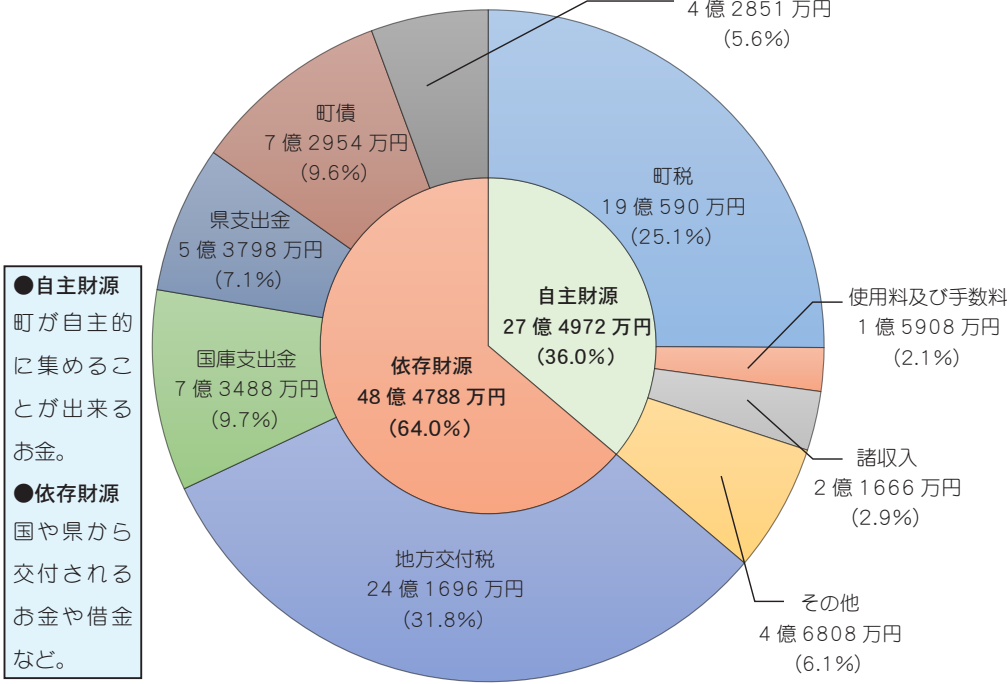
知りたいこと望むこと～3人が一般質問～

P11

第5回臨時会・第6回臨時会



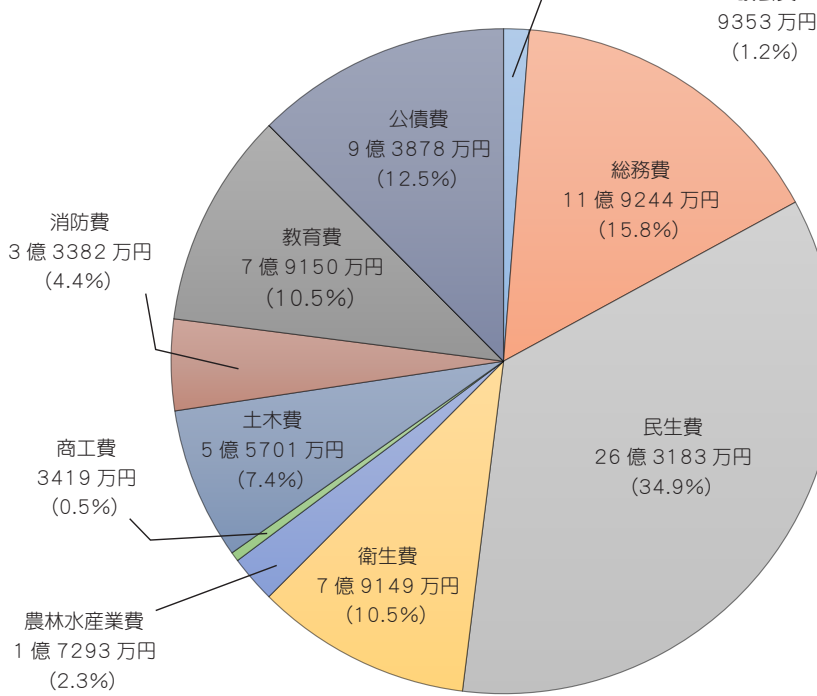
●一般会計歳入 75億9760万円



●自主財源
町が自主的に集めることが出来るお金。

●依存財源
国や県から交付されるお金や借金など。

●一般会計歳出 75億3801万円



概要
令和2年9月定例会が9月2日から16日までの15日間の会期で開かれました。
議会では令和元年度の各会計決算認定、条例の制定および一般会計補正予算など22議案を審議しました。

令和元年度 一般会計・特別会計・企業会計
歳入歳出決算を認定

●会計別歳入歳出決算額

| 会計名 | 歳入額 | 歳出額 | 翌年度へ繰り越すべき財源 | 実質収支額 | |
|--------|----------------------|-----------|--------------|--------|------------|
| 一般会計 | 75億9760万円 | 75億3801万円 | 1268万円 | 4690万円 | |
| 特別会計 | 国民健康保険事業 | 18億8364万円 | 18億2938万円 | 0万円 | 5427万円 |
| | かんがい施設維持管理運営費 | 2920万円 | 2920万円 | 0万円 | 0万円 |
| | 後期高齢者医療 | 2億7076万円 | 2億6895万円 | 0万円 | 181万円 |
| | 住宅新築資金等 | 69万円 | 69万円 | 0万円 | 0万円 |
| | 流域関連公共下水道事業 | 9億0343万円 | 9億0340万円 | 0万円 | 4万円 |
| | 谷山池パイプライン水利施設維持管理運営費 | 448万円 | 448万円 | 0万円 | 0万円 |
| | 地方独立行政法人くらて病院貸付金等 | 3億8532万円 | 3億8532万円 | 0万円 | 0万円 |
| 水道事業会計 | 収益的収支 | 3億3539万円 | 3億3155万円 | 0万円 | ※1 115万円 |
| | 資本的収支 | 1717万円 | 1億0227万円 | 0万円 | ※2 ▲8510万円 |

※1 消費税を除いた額 ※2 不足分は積立金(留保資金)で補填

衛生費

7億9149万円

主な事業

| | |
|-------------|--------|
| ○じん芥収集業務委託料 | 9883万円 |
| ○予防接種業務委託料 | 2964万円 |
| ○健康診査事業委託料 | 1178万円 |



農林水産業費

1億7293万円

主な事業

| | |
|---------------------|--------|
| ○水田農業担い手機器導入支援事業補助金 | 1679万円 |
| ○多面的機能支払事業費補助金 | 3119万円 |
| ○ため池整備事業費 | 1550万円 |



商工費

3419万円

主な事業

| | |
|---------------|-------|
| ○特産品販売促進事業補助金 | 175万円 |
| ○元気まつり補助金 | 281万円 |
| ○鞍手町商工会補助金 | 832万円 |



土木費

5億5701万円

主な事業

| | |
|------------|--------|
| ○道路維持管理事業費 | 4472万円 |
| ○公園管理費 | 1588万円 |
| ○住宅維持補修事業費 | 2161万円 |



教育費

7億9150万円

主な事業

| | |
|--------------|--------|
| ○小学校管理費 | 7469万円 |
| ○中学校管理費 | 7987万円 |
| ○幼稚園利用給付費補助金 | 1665万円 |



令和元年度 主な事業を

ピックアップ

決算

総務費

11億9244万円

主な事業

| | |
|----------------------|--------|
| ○ふるさと納税返礼品 | 462万円 |
| ○老朽危険空家解体補助金 | 192万円 |
| ○コミュニティバス等路線運行維持費補助金 | 4688万円 |



民生費

26億3183万円

主な事業

| | |
|------------------|----------|
| ○後期高齢者医療療養給付費負担金 | 2億4647万円 |
| ○介護保険広域連合負担金 | 2億9044万円 |
| ○児童手当 | 2億2652万円 |



消防費

3億3382万円

主な事業

| | |
|----------------|----------|
| ○直轄広域消防事務組合負担金 | 2億4436万円 |
| ○消防団管理運営費 | 2082万円 |
| ○防災無線費 | 6173万円 |



公債費

9億3878万円

主な事業

| | |
|----------|--------|
| ○長期償還金元金 | 9億91万円 |
| ○長期償還金利子 | 3779万円 |



※数字は四捨五入しているため、必ずしも合計額と一致しているとは限りません。

令和元年度決算

決算特別委員会質疑

ここでは、決算特別委員会で行われた質疑を要約してお知らせします。

ふるさと納税推進費

問 寄附件数が昨年から4分の1弱に減少している要因は。

政策推進課長

昨年は沖縄県

の首里城で火災が発生し、そのため、ふるさと納税のサイトで首里城再建への寄附を募るケースが多くあったのが要因だと考えられます。

シティプロモーション推進事業費

問 シティプロモーションの具体的な活動内容は。

活動内容は。

政策推進課長

委託料や負担

金補助または交付金が大きくウエイトを占めています。これは、2月に行われる真ん中鞍手コンサートにおいて、ふるさと納税返礼品や移住者のパンフレットなどを配布して鞍手町の魅力をアピールする事業を行っています。

また、民間が行うキャンドルナイトくらてイン長谷観音やハーフレーマラソンなど町を活性化する事業に対して助成をしています。

空家流通促進事業費

問 どのような構想で行う事業なのか。

政策推進課長

現在は空家の

相談体制の整備を行っており民間の事業者と連携協定を結び、行政では解決できない様々な

委託料や負担

空家事象に対し専門的見地からの意見を受けています。その他、空家の個別相談会を実施し、昨年度は22件の相談がありました。

問

数は。

町内の空家件数と空家バンク登録件

政策推進課長

平成28年の調査では730件の空家

があり、今年度再調査を行う予定です。

消防団管理運営費

問

現在の団員数で消防団活動に支障はないのか。

総務課長

現在の団員数は151

人です。現実として団員の確保は難しい状況ですが、今年度より新たに消防団OBが災害時に従事していただく制度を設けています。

滞納状況の推移

町税の現年度分と滞納繰越分の合算した収入率は町民税95・81%、固定資産税96・43%、軽自動車税91・05%となっています。

町全体では、96・28%で前年度に比べ0・21ポイント上回っていることから、徴収努力をされていることがわかります。

しかし、町税は自主財源の根幹をなすべきものであり、税負担の公平性の観点からも収入未済額の解消のため、収納率の向上に、より一層努められるよう望みます。

町営住宅家賃徴収については、納付相談などによる努力の結果は、現年度分及び滞納繰越の収入率に表れており、全体では、前年度より2・14ポイント上回っています。滞納者対策として長期および悪質滞納者に対しては民事調停や提訴の実

率は、前年度に比べ現年度分で2・08%減、滞納

率に比べ254万円減少しています。

国民健康保険税の収入は、前年度に比べ2108万円となり、前年度に比べ69万円減少したが、未収金の回収については、なお一層の努力を要望します。

● 税目別の滞納額

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|-------|--------|--------|--------|
| 町民税 | 3196万円 | 2832万円 | 3062万円 |
| 固定資産税 | 3910万円 | 3408万円 | 2962万円 |
| 軽自動車税 | 521万円 | 449万円 | 448万円 |
| 合計 | 7627万円 | 6689万円 | 6472万円 |

● その他の滞納額

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|---------|--------|--------|--------|
| 町営住宅家賃 | 1921万円 | 1670万円 | 1462万円 |
| 保育料 | 581万円 | 432万円 | 245万円 |
| 国保税 | 8346万円 | 6379万円 | 6129万円 |
| 住宅新築資金等 | 2229万円 | 2177万円 | 2108万円 |

※質疑の内容、答弁は紙面の都合上、要約しています。

会議録は、鞍手町ホームページや議会事務局で閲覧できます。

尚、会議録の調製により、閲覧が遅れる場合がありますのでご了承ください。

今後も経費の削減に努められたい

一般会計歳入予算の執行状況は、前年度に比べ1億1404万6千円増額となっている。自主財源の大半を占めている町税は3511万4千円の増となっている。公平負担の原則のもと町税等の収納率向上を図るなど自主財源の確保に努められたい。

一方、歳出予算の執行状況は、前年度と比べ1億9345万6千円増額となっている。本年度は歳出総額の44・85%が義務的経費である。

今後においても経費の削減に努められたい。特別会計では、国民健康保険事業特別会計は、本年度は黒字であるが、翌年度以降に精算で赤字になることがあり得ることから十分注意を払い経費削減に努められたい。その他各会計は、黒字で

討論

賛成討論

一般会計決算の歳入面を見てみると、本町の重要な歳入予算科目は、国からの交付金が大きくな

エイトを占めています。しかし、町税の伸びも目を引くところです。この町税の伸びは、人口の減少の中、法人誘致の努力の結果であると評価することができ

今後も、町有地の有効利用と民有地の情報収集に努め、さらなる法人誘致の努力と人口増加への取り組みに期待します。

歳出面においては、空家対策として取り組んでいる事業については、今後の積極的な事業展開に期待します。

また、新庁舎建設に向けた事業も進み始めています。本町のシンボルとなる重要な新庁舎であることを十分に理解し、職

員が一致団結して取り組んでいる姿に安ど感を覚えてい

新庁舎建設にあたり、担当職員の努力に敬意を表します。

今後は、新庁舎完成に向け、担当職員はさらなる努力を強いられることが推察されるが、町民が利用しやすく、愛着のある新庁舎が完成されることを期待

これ以外にも多くの事業で成果を上げていることは評価に値します。

田中 二三輝

意見書

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方財源の確保を求め

意見書1件を全会一致で可決し、国の関係機関へ送付しました。

●教育委員会教育長の任命

教育長 栗田ゆかり氏の任期が令和2年10月3日をもって満了することから、後任に外園哲也氏を任命することについて、賛成多数で同意しました。



外園 哲也 氏

任期
令和2年10月4日
～
令和5年10月3日

●教育委員会委員の任命

教育委員 藤井睦彦氏の任期が令和2年10月6日をもって満了することから、同氏を再任することについて、全員賛成で同意しました。

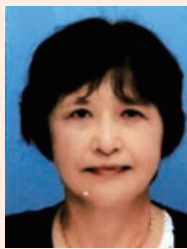


藤井 睦彦 氏

任期
令和2年10月7日
～
令和6年10月6日

●人権擁護委員の推薦

人権擁護委員 大和 勉氏の後任として山田伸子氏を推薦することに同意しました



山田 伸子 氏

任期
令和3年1月1日
～
令和5年12月31日



令和2年第7回定例会議案議決結果及び議員別賛否一覧表

議長は裁決には加わりません。○は賛成、●は反対を表しています

| | 添田政勝 | 野口美恵子 | 田中三輝 | 宇田川亮 | 新谷留晴 | 篠原哲哉 | 有働徳仁 | 栗田美和 | 許斐英幸 | 西藤典子 | 的野信之 | 須山由紀生 | 議決結果 |
|---------------------------------------|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|
| 教育委員会教育長の任命 | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 同意 |
| 教育委員会委員の任命 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 同意 |
| 督促手数料及び延滞金徴収条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 後期高齢者医療に関する条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 一般会計補正予算（第5号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 流域関連公共下水道事業特別会計補正予算（第1号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 水道事業会計補正予算（第2号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 令和元年度一般会計決算認定 | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | 認定 |
| 令和元年度国民健康保険事業特別会計決算認定 | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | 認定 |
| 令和元年度がんがい施設維持管理運営費特別会計決算認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 認定 |
| 令和元年度後期高齢者医療特別会計決算認定 | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | 認定 |
| 令和元年度住宅新築資金等特別会計決算認定 | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | 認定 |
| 令和元年度流域関連公共下水道事業特別会計決算認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 認定 |
| 令和元年度谷山池パイプライン水利施設維持管理運営費特別会計決算認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 認定 |
| 令和元年度地方独立行政法人くらて病院貸付金等特別会計決算認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 認定 |
| 令和元年度水道事業会計決算認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 認定 |
| 流域関連公共下水道事業西川処理分区管渠築造工事（第30工区）請負契約の締結 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 同意 |
| 流域関連公共下水道事業西川処理分区管渠築造工事（第31工区）請負契約の締結 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 同意 |
| 流域関連公共下水道事業西川処理分区管渠築造工事（第32工区）請負契約の締結 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 同意 |
| 道路改良事業 本町・今村線外1路線道路改良工事請負契約の締結 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 同意 |

今回の台風10号の接近に伴う避難所の開設や運営については、多くの職員で役割分担を確認した上で、昼夜を通して対応ができていたと考えております。

台風10号による被害状況ですが、幸いにも大規模な被害は発生しておりません。

今回の台風10号の対応については、事前に新型コナ禍の感染拡大防止のためのパーティションなどの準備ができていたことや、7月の時点で嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所の立会いのもと、中央公民館に避難スペースのレイアウト等の確認作業を行っていたことから、混乱もなく避難所の開設、運営ができたと思います。



知 り た い い と 望 む い と

3人が
一般質問

このみ ひでゆき
1. 許斐英幸 議員・・・・・・・・・・・・・ 8

- ・まちづくりについて
- ・有害鳥獣駆除について
- ・副町長の任命について

うたがわ あきら
2. 宇田川 亮 議員・・・・・・・・・・・・・ 9

- ・新型コロナ対策について
- ・プラスチックリサイクル業を行っているM社について

さいとう のりこ
3. 西藤典子 議員・・・・・・・・・・・・・ 10

- ・コロナ禍から身を守るために
- ・情報通信ネットワークシステムの活用のために



一般質問とは、町長から提出された議案以外に、行政に対する疑問点について質問することです。

一般質問の内容、答弁は質問者自身が要約し、広報委員会が校正したものです。

質問の全文は、鞍手町ホームページや議会事務局で会議録を閲覧できます。
※尚、会議録の調製により、閲覧が遅れる場合がありますので、ご了承下さい。



町の総合計画を修正する考えは？



許斐 英幸 議員

町長 「国、県の指針などにに基づき対策を講じたい」

問 町の総合計画があるが、新型コロナウイルスの影響を踏まえた計画に修正するような考えはあるのか。

町長 町の総合計画は現在、第五次総合計画の後期計画を策定したばかりであり、

新型コロナウイルスの影響の突発的な感染症対策を総合計画に位置付けることはできません。

ただ、新型コロナウイルスによる影響については、国、県の指針や町のウイルス等対策行動計画などに基づき対策を講じたいと考えています。

問 役場の移転地にくらべて病院が隣接してできることから、移転先が今後、町の中心になっていくことが考えられるが、移転先周辺の開発やインフラの整備などをどう考えているのか。

町長 計画に基づく市街地の計画や、コンパクトなまちづくりを目指していくことは当然考えております。

現在、立地適正化計画を策定中であり、計画に基づいて進めていきたいと思っております。

有害鳥獣駆除について

問 昨年6月にも有害鳥獣駆除について

質問があったが、猟友会のメンバーの高齢化などですぐに対応するのが難しいのが現状だが、町長の考えは。

町長 現在、有害鳥獣の捕獲については猟友会に委託し、年間を通して銃器及び箱罠による捕獲を実施していただいております。近隣の自治体では、新たに狩猟免許を取得し、有害鳥獣捕獲に従事する方へ免許取得に関わる経費の一部を助成する事業の実施を聞いており、今後本町でも有害鳥獣捕獲の担い手を確保するため



▶有害鳥獣の駆除の担い手である狩猟者が減少、高齢化している。

に、どのような支援策ができるか検討していきたいと考えます。

副町長の任命について

問 一年前にも質問したが、副町長の不在が2年間続いている。町長も一人で大変だと思ふし、職員もまた困っていると考えるが、町長の考えは。

町長 私と同じ思いで鞍手町の発展のために一緒に動いていただける方に打診はしておりますが、なかなか良い返事をいただけておりません。

できれば副町長の候補者をこの議会でご提案できればというふうに考えております。



宇田川 亮 議員

問

インフルエンザワクチン補助の拡充を

町長

「前向きに検討します」

問 3億5千万円を超える国からの交付金を主な財源とした、新型コロナウイルスに対する町独自の支援策に不用額が生じた場合、他の支援策を行う考えは。

町長 不用額が生じないよう、支援策の周知に努めています。しかし、交付金の額を下回るような執行状況であれば、追加の策を検討

討する必要があります。

問 新型コロナウイルスとインフルエンザが同時流行する恐れがあることから、インフルエンザワクチンの補助金額と対象者を拡充するべきでは。

町長 厚生労働省予防接種・ワクチン分科会は、予防接種法に基づく定期接種対象者（65歳以上の高齢者）

に加え、乳幼児から小学校低学年、医療従事者等が希望する場合に優先的な接種を呼びかけるとし

ています。
町として前向きに検討していきます。

問 新型コロナウイルス陽性で、自宅療養の対象者が発生した場合、配食サービスや健康状態のフォローアップなどが必要となる。

町長 個人情報の観点から、町には、新型コロナウイルスに感染した方がいるとしか伝えられません。配食サービスなど、どういう支援ができるのか、早急に県に確認したいと思います。

配食サービスを行う場合、交付金により補助されることにもなっているが、町としての対応は。

町長 個人情報の観点から、町には、新型コロナウイルスに感染した方がいるとしか伝えられません。

配食サービスなど、どういう支援ができるのか、早急に県に確認したいと思います。

問 プラスチック再生業のM社について

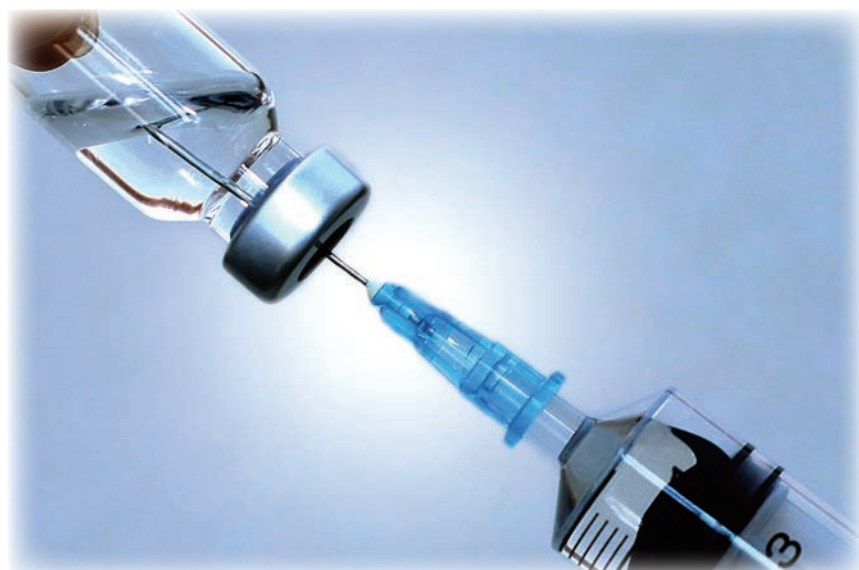
町長 プラスチックリサイクル業を行っているM社は、昨年9月頃から、24時間操業を開始する中で「騒音、異臭、煙、光」等の苦情が周辺住民から出されていたようだが、これまでの対応は。

農政環境課長 令和元年9月に廃棄物処理業者が操

業を始めているが問題はないのかとの通報がありました。そこで環境事務所や消防、警察、県土整備事務所、町が立ち入り検査を行った結果、産廃施設ではなく、再生プラスチックの製造施設であり、法的な違反行為はないことを確認しました。

しかし、敷地内の設備において何点かの問題があり、先程申しました関係行政機関より改善指示がなされ、その後、改善されていることを関係行政機関がその都度確認しているところです。

次に令和2年6月に地元元の区長からM社の「騒音・悪臭・夜間照明」などの苦情があり、3人の周辺区長とともに工場内を視察し、M社社長と改善点などの意見交換をしています。
現在のところ役場及び関係機関に苦情は寄せられていません。



▶鞍手町では、10月1日から生後6か月から18歳学年年齢までのインフルエンザ予防接種費用の補助を開始しました。（詳しくは町ホームページでご確認ください。）

問

職員等に定期的 PCR 検査を実施する考えは？



西藤 典子 議員

町長 「そういう状況にはないと認識しています」

問 コロナ禍による受診抑制等で経営悪

町長 当町においては近隣よりもまだそういった発生状況にはないと認識をしていますので、今のところそういった予算措置等も含めて必要がないと考えています。

問 感染が広がると深刻な影響が出る医療機関や高齢者介護・障がい者福祉施設、保育・学校等で働く人々への定期的検査体制と、そのための予算措置の計画は。

化が予測されるくらで病院への財政支援は。

町長 国の第2次補正により、県において重点医療機関への支援、医療従事者等への慰労金の支給、院内感染防止等の支援が行われており、くらで病院においても財政的な支援が行われる予定です。

町としては総務省が発出する地方公営企業繰出金通知に準じ算定した普通交付税に算入される額、約2億7千万円をくらで病院運営費負担金として支出することにしており、普通交付税分以外の財政的支援を行う予定はありません。

問 コロナ禍による3割以上の減収者に対する国保税等の特別減免制度、鞍手町の申請件数等は。

税務住民課長 9月1日現在

在9人の方が減免認定を受けられ、減免額は145万6百円となっています。電話等で問い合わせがあつており、今後申請があると思われま

問 他の健保にはなく、国保税で最も理不尽な子どもの均等割、コロナ禍中の今年度は免除する考えは。

町長 国保に加入している子どもだけを対象に減免措置を行った場合、他の保険に加入している被保険者の子どもとの間で公平性に欠けることになるのではないかと考え方から、今までの考え方に変わりはありません。

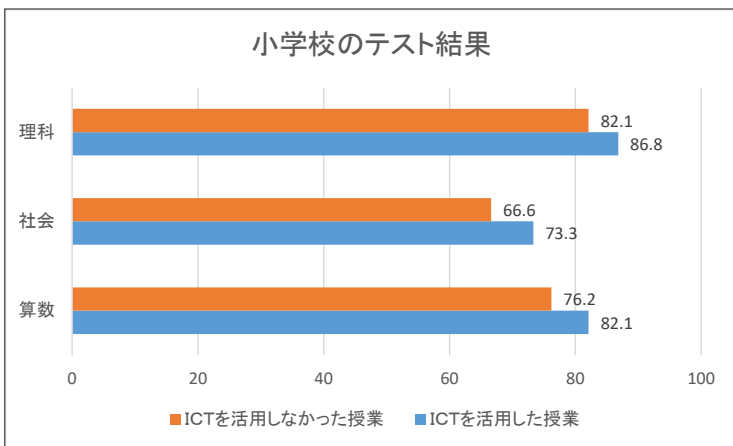
ICT教育人材を配置する考えは

問 導入が決まった情報通信ネットワークシステム活用のために、国の実施に先駆けて、GIGAスクールサポーター等のICT教育人材を配置する考えは。

現在、GIGAスクー

教育課長

ル構想の実現に向けた児童生徒1人1台端末、及び高速大容量の通信ネットワークの整備に着手しておりますが、これらの整備と合わせまして、今後は国が2022年度までの目標とした水準である、4校に1人のICT支援員配置が必要となりますので、この点につきましては今後検討してまいります。



▶ ICT活用の効果 (文部科学省HP)

第5回臨時会

●令和2年度一般会計補正予算（第4号）

▲全員賛成で可決

額の5%を給付するとの

令和2年第5回臨時会
が7月21日に開催され、
新型コロナウイルス感染症
症対応地方創生臨時交付
金を踏まえた本町独自の

新型コロナウイルス感染症
拡大防止のため更なる取り組みを

主な質疑

コンビニ交付サービス
について

問 コンビニ交付サー
ビスを受けるには
マイナンバーカードが
必要なのか。

必要なのか。

税務住民課長

カードは必要です。



マイナ
ンバー
カードは必要です。

遠隔会議システムの
導入について

問 遠隔会議システ
ムの導入事業費とし
て予算計上されている
が、どのようなものな
か。

が、どのようなものな
か。

総務課長

インターネッ
トを通じて

会議場出席者が集まる
ことなく会議ができるシ
ステムを構築します。
基本的には行政機関等の
会議をリモートで行える
ようにするものです。

| 住民生活に対する支援策 | 事業者等に対する支援策 |
|---|---|
| 新生児特別定額給付金 10,063千円 令和2年4月28日から令和3年4月1日までの新生児を対象に、1人当たり「10万円を給付。」 | 中小企業等環境改善支援金 59,477千円 中小企業等の新型コロナウイルス感染症対策に要する費用を支援するため、一律10万円を給付。 |
| ゴミ袋の無償配布 4,587千円 一世帯当たり可燃ごみ袋（大）30枚を配布。 | 中小企業等事業継続支援金 55,555千円 金融機関から融資を受けた中小企業等を対象に30万円を限度に融資額の5%の額を給付。 |
| 図書カードの配布 6,021千円 鞍手町に住居登録がある小・中学生等に1人当たり5,000円分の図書カードを配布。 | 中小企業等家賃支援金 7,523千円 最大6ヶ月分、7万5千円（家賃月額1万2500円の6ヶ月分）を限度に、家賃の15%の2を給付。 |
| 学校給食費の減免 15,600千円 8月から3か月分の学校給食費を減免。 | コミュニティバス等環境改善支援金 950千円 コミュニティバス・もやいたクシーの感染症に要する費用を支援するため、バス1台当たり15万円、タクシー1台当たり5万円を運行事業者に給付。 |
| 社会的な環境の整備 | |
| (1) 行政の電子化・スマート化 | 放課後児童クラブ特別開所協力金 1,750千円 放課後児童クラブの特別開所への協力金として、従事者一人当たり5万円を給付。 |
| ① コンビニ交付サービスの導入 26,441千円 ② 公文書デジタル化の推進 5,220千円 ③ 遠隔会議システムの導入 10,000千円 | 中小企業等支援業務委託 1,791千円 各種支援策を円滑に進めるため、サポート業務を鞍手町商工会に委託。 |
| (2) GIGAスクール構想の実現 （財源更生） | その他新型コロナウイルス感染症に関連する国の補助事業や公立保育所費（単独事業）を計上しています。 |
| (3) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止策 | |
| ① 新型コロナウイルス感染症対策費 5,507千円 ② 避難所衛生環境対策費 8,937千円 ③ 学校保健特別対策事業費（小中高） 16,205千円 ④ 公民館図書室運営費 1,003千円 | |

▶新型コロナウイルス感染症に伴う鞍手町独自支援策（第2弾）

中小企業等事業継続支
援金について

問 中小企業等事業継
続支援金は、借入

額

ことだが、具体的にどの
ような事業か。

地域振興課長

事業の
継続や

雇用の維持を図るため
に町が指定する13の融
資制度を活用して融資
を受けた中小企業等に
対し支援金を給付する
ものです。

総務課長

問 避難所の備品はど
のようなものを購
入するのか。

検温カメラ、
スポットク
ーラーおよび足踏み式
消毒液スタンドをそれぞ
れ10台購入予定です。

第6回臨時会

●公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業
鞍手町立小中学校情報通信ネットワークシステム構
築業務請負契約の締結

●財産の取得

令和2年第6回臨時会

しているのか。

が8月18日に開催され、
業務請負契約の締結およ
び財産の取得の2件の議
案が提出されました。

教育課長

今年度末ま
でにタブレ
ットを準備して、ネット
環境整備を行い、来年の
4月以降に各小中学校の
児童1人にタブレット1
台を使い授業を行う予定
としています。

主な質疑

問 ネットワークシ
ステムを構築するに
あたり、どういう時点で
どのような使い方を想定

しているのか。

表紙の紹介

ぶどう狩り



大人から子どもまで大人気のぶどう。ぶどう狩りはもぎたて新鮮さを味わえるのが魅力です。

9月17日に東海大学付属福岡高等学校の1年生が町内のぶどう園でぶどう狩りを楽しみました。

口の中に広がる果汁と甘い香りを楽しみながら、生徒たちは家族へのお土産にぶどうを袋一杯に詰め込んでいました。

新型コロナウイルス対策に関する議会の傍聴について

新型コロナウイルス感染症対策として、9月議会の傍聴については極力ご遠慮をお願いいたしました。町議会に関心を寄せていただいている皆様にはご迷惑をおかけし、お詫び申し上げます。しかし、未だコロナウイルスは消滅しておらず、12月議会も9月議会と同様に下記の項目についてご協力いただきますようお願いいたします。

1. 発熱や咳等の症状があるなど体調がすぐれない方は傍聴をご遠慮ください。
2. マスクを着用し咳エチケットにご配慮ください。
3. 備え付けの手指消毒液で消毒したうえで傍聴してください。
4. 本会議の傍聴席は**通常30名を最大10名**に制限させていただきます。



傍聴をご希望の皆様にはご不便をおかけすることになりますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※なお、新型コロナウイルス感染症については日々状況が変化しており、それに伴い対応方針（開会時間、日程等）が変更する場合がありますのでホームページ等で随時お知らせいたします。

問い合わせ 議会事務局 ☎42局 2111 番（内線 331）

編集後記

令和2年が明け早くも10月。本来であれば東京オリンピック・パラリンピックも終わり年末に向け徐々に慌ただしくなる季節。日常が非日常となった今年、新型コロナウイルスによる影響で私たちの生活が激変して久しい。いつ終息するかわからない中、ソーシャルディスタンス・三密など日頃聞きなれない言葉が飛び交う。新しい生活様式にも徐々に慣れてきたが、マスク無しで外出できる日が来ることを祈らずにはられない。

的野 信之

発行責任者

議会議長 星 正彦

編集スタッフ

| | | | | | |
|------------|------------|----------|----------|----------|----------|
| 委員長 野口 美恵子 | 副委員長 西藤 典子 | 委員 有働 徳仁 | 委員 新谷 留晴 | 委員 添田 政勝 | 委員 的野 信之 |
|------------|------------|----------|----------|----------|----------|